

掘師会 2024 年立冬会報

(日本における地下掘削の技術向上並びに継承するために設立された会)

一般社団法人掘師会

東京都練馬区大泉学園町

理事長 内山 剛

1. 理事長挨拶



2020 年コロナ禍、志を持った皆様と一般社団法人掘師会を立ち上げることができました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

2024 年は昨年度よりも勉強会開催を増やし、会員の皆様とともに、引き続き、ボーリング技術のスキルアップを図っていきます。

引き続き皆様の御協力をお願い申し上げます。

内山 剛

2. 掘師会情報交換会

開催日	2024 年 11 月	場所	オンライン	参加者	会員
内容	・民間建設動向（仕入資材の価格等を含む）				

3. ボーリングスキルアップ講習会の実施状況

期日 (2024 年)	勉強会の内容
9 月 7 日 (土)	英語による「地質と土壌」に関する勉強会 参加：会員 7 名 場所：大泉学園地区区民館
9 月 15 日 (土)	英語による「会社紹介」に関する勉強会 参加：会員 7 名 場所：大泉学園地区区民館
9 月 18 日 (水) 又は 9 月 19 日 (木)	地盤技術フォーラム 2024 視察 参加：会員 5 名 (合計) 場所：東京ビッグサイト
9 月 21 日 (土)	柱状図及び地質調査報告書に関する勉強会 参加：会員 10 名 場所：大泉学園地区区民館
9 月 28 日 (土)	英語による「土」に関する勉強会 参加：会員 3 名 場所：大泉学園地区区民館
10 月 6 日 (土)	英語による「作業安全」 参加：会員 6 名 場所：大泉学園地区区民館
11 月 30 日 (土)	英語による「標準貫入試験 (SPT) の世界的な歴史」に関する勉強会 参加：会員 6 名 場所：大泉学園地区区民館

4. 今後の研修の方向性

ボーリング実技講習は、オールコアサンプリング等高度な技術が必要な現場が少なくないこと等から、来年（2025 年）春よりボーリング実技講習初級（仮称）と上級（仮称）に分けたプログラムを設定する。

5. トピックス（報告）

「外国人材とつくる建設未来賞」から考える中長期視点での人材育成に対する一考察

2024 年 11 月 21 日、国土交通省が本年度で 2 回目となる「2024 年度外国人材とつくる建設未来賞」の受賞者を発表した。

1. 「外国人材とつくる建設未来賞」とは

2024 年度「外国人材とつくる建設未来賞」の背景や目的は次表の通り。

<表：国土交通省の「外国人材とつくる建設未来賞」の背景や目的について>

項目	内容
背景	多くの建設業は人手不足が慢性化。中長期的な人材確保のため、外国人材の定着が重要。
目的	外国人材が建設業で中長期的に活躍できる環境を醸成すること。

出所：国土交通省資料から筆者要約

2. 表彰内容

2024 年度「外国人材とつくる建設未来賞」の表彰内容は次表の通り。

<表：2024 年度外国人材とつくる建設未来賞の表彰内容（抜粋）>

賞とその内容	受賞者
<u>優秀外国人建設技能者賞</u> 特定技能制度のもと、建設技能・コミュニケーションスキルの習得に関する取組みが顕著であり、建設現場での指導的役割を目指す外国人技能者を表彰。	計 6 名 ベトナム 3 名/中国 2 名/ミャンマー 1 名
<u>外国人材育成賞</u> 外国人材の育成及び就労環境の向上に関する継続的かつ効果的な取組が顕著な企業を表彰。	計 5 社 東京 5 社/高知 1 社

注：その他事業展開賞等もある。出所：国土交通省資料に基づき筆者作表

3. 「外国人材とつくる建設未来賞」から考える中長期視点での人材育成に対する一考察

「外国人材とつくる建設未来賞」が醸成する「外国人材の定着」は、技能やコミュニケーションや監督能力の育成に重点が置かれている。外国人材の定着には、外国人材の将来設計ニーズを把握しその対応も必要だ。例えば、キャリアプラン（管理職又は専門職の選択制等）の構築が挙げられる。

参考文献：国土交通省「外国人材とつくる建設未来賞」特設サイト及び国土交通省プレスリリース他

記録：2024 年 11 月 30 日 小島康（中小企業診断士）

編集：掘師会事務局（合同会社ココジマ）